

将来像の検討について

● 庁内における検討の流れ

1. 背景

(1) 吹田市のあゆみ 将来像 (P.12) 1・2段落目に記載

- ① 全国のモデルとなる千里ニュータウンの建設
→ 高齢化の進んだ NT の再生 子育て世帯が多く流入するなど、より魅力が高まってきている
- ② 万博の開催
- ③ 吹田操車場跡地→北大阪健康医療都市

(2) 地域資源 将来像 (P.12) 1・2段落目に記載

- ① みどり豊かで調和のとれた都市空間、高質な生活環境
- ② 充実した医療・教育・研究環境と産業集積
- ③ 歴史と文化、高い市民力 など

(3) 都市宣言

非核平和都市宣言・健康づくり都市宣言・安心安全の都市（まち）づくり宣言

(4) 人口

住宅開発により、近年、大幅な転入超過



2. 現状・今後の課題

(1) 社会潮流 将来像 (P.12) 3段落目に記載

- ① 少子高齢化の進展や産業・雇用構造の変化
- ② 高度経済成長期以降、整備した公共施設等の老朽化への対応
- ③ 環境問題の深刻化や多発する地震や豪雨などの災害への関心の高まり
- ④ ライフスタイルが多様化する中、多様化・高度化する市民ニーズへの対応 など

(2) 市民ニーズ (H26「市民意識調査」より) 将来像 (P.12) 4段落目に記載

- ① 多くの市民が優先して実施すべきと考えている分野
子どもを育てる環境、学校教育、地震や水害などに対する防災対策
- ② 多くの市民が抱く「吹田市の望ましい将来像」
子育てのまち、福祉のまち、医療のまち、安心安全なまち、住宅環境が整ったまち、市民の暮らしを支える安定した基盤が整ったまち
⇒ あらゆる世代が安心安全で暮らしやすいまち が望まれている



3. 将来像の視点

将来像 (P.12) 5段落目に記載

- (1) 安心安全：危機管理に関するだけでなく、平和、福祉、子育て、健康などのあらゆる安心
- (2) 住みやすい（暮らしやすい）：良好な環境、利便性、快適性など
- (3) 持続可能：将来世代へ本市の良さを受け継ぐ